

## 新基本構想・基本計画策定「市民会議」第7回リーダー会議兼第2回起草委員会議事録

日時：平成23年9月11日（日）13時30分～15時38分

場所：大横保健福祉センター 3階会議室

参加者：岡崎、篠原、加藤、岡田、中瀬、新倉、野崎、土肥、野牧、小西（代理）、関谷

欠席者：八木、倉田

傍聴者：なし

事務局：小島、伊藤、内田、設楽、和智、中山、羽生

富士通総研：大森

## 配付資料：

資料1：「中間まとめ」に対する市民意見募集結果一覧

資料2：市議会と新基本構想・基本計画素案策定市民会議との意見交換会 議員意見要点

資料3：起草委員会作業スケジュール（案）

資料4：各分科会における主な計画全体に関わる部分の検討結果

資料5：基本理念の位置づけについて

資料6：素案構成（案）

その他：教育・学習分科会から、資料「各論冒頭文案」が提示された

## 1. 開会・資料確認

- ・ 本日のリーダー会議と起草委員会は進行上分けずに進めた方が効率的ではないかという事務局からの提案に対し、了承した。
- ・ 配付資料（資料1～6）のほか、教育・学習分科会の資料一部を確認した。

## 2. 第6回リーダー会議決定事項の確認

- ・ 事務局から、第6回リーダー会議の決定事項等の報告があり、確認した。

## 3. 「中間まとめ」に対する市民意見募集結果について

- ・ 事務局から、広報で募集した結果を「資料1」としてまとめたとの報告があり、確認した。
- ・ 事務局から、結果として33人の方から延べ155件の意見があったこと。また、「資料1」には、意見が該当する又は関係すると思われる分科会名が記入してあるが、他の分科会の意見も参考にしてもらいたいと報告があり、確認した。
- ・ 事務局から、市民意見については、素案の巻末に意見の検討結果を記述し、公表したい旨報告があり、確認した。なお、素案での掲載方法については、今後、検討することも確認した。
- ・ No.1の意見については、教育・学習分科会にも情報提供した方がよいとの意見があり、後日情報提供することを確認した。

## 4. 市議会との意見交換会による課題等の取り扱いについて

- ・ 事務局が「資料2」に基づき、先週の市議会との意見交換会において市議会議員から出された意見を要点としてまとめたこと。また、まとめにあたっては、全体に関わると思われるものと各分

科会に関わると思われるものに分けているが、自分の分科会はもとより他の分科会の意見も参考にしてもらい、今後の施策シート作成の参考にしてもらいたいと報告し、確認した。

- ・ 事務局から、市議会との意見交換会の目的は、市民意見募集同様、素案の作成にあたって数多くの市民から多様な意見を聴きたいということで実施したが、市議会との意見交換会の意見の取扱いについては、市議会議員については最終的に提出された議案を審議採決する立場になることもあり、素案の策定に直接関わることは適切ではないという市民参加推進審議会からの答申も踏まえ、議員の意見がどう反映されたかを公表するのではなく、検討の参考にしてもらいたいと報告があり、確認した。
- ・ 市民意見等について、データでもらうことは可能かとの質問あり、事務局が市民意見等のデータを提供することを確認した。

## 5. 起草委員会スケジュール等について

- ・ 事務局が「資料3」に基づき、今回を含めた今後のリーダー会議等のスケジュールを下記のとおり提案し、確認した。
  - ・ 第7回兼第2回起草委員会：平成23年9月11日（日） 13:30～15:30
  - ・ 第8回兼第3回起草委員会：平成23年9月25日（日） 10:00～12:00
  - ・ 第4回起草委員会：平成23年10月9日（日） 13:30～15:30
  - ・ 第5回起草委員会：平成23年10月16日（日） 10:00～12:00
  - ・ 第9回兼第6回起草委員会：平成23年10月30日（日） 10:00～12:00
  - ・ 第10回兼第7回起草委員会：平成23年11月13日（日） 10:00～12:00
  - ・ 第2回全体会議：12月3日（土） 13:00～14:00
- ・ 事務局から、10月16日（日）には検討した起草委員会作成文案を確定し分科会に示した後、分科会からの意見を10月30日（日）のリーダー会議兼起草委員会で集約・修正、11月13日（日）に素案として確定させ、12月3日（日）の全体会議でリーダー会議から市民委員に説明を行うとの提案があり、確認した。
- ・ なお、事務局から、起草委員会は総論文案作成の一連の作業を行うので、起草委員が出席できない場合の分科会からの代理出席は不要と説明があったが、現段階で欠席が想定される分科会もあることから、代理出席する委員が起草委員会を傍聴するなど進捗状況等を把握している場合は、代理も可能とすることを確認した。

## 6. 総論

### (1) 全体の価値観について（前回検討内容の補足等の確認）

- ・ 事務局から、「資料4」に基づき、価値観について前回のリーダー会議や産業分科会から提示された追加内容を含めた全体内容について説明があり、確認した。また、前回のリーダー会議で議論した内容についても「資料4」の裏面に記載していることが報告され、確認した。
- ・ 教育・学習分科会から、「幸せな社会」に「市民が創る住みよい社会」、「幸せな社会を実現するために必要なこと」に、「輪」を加えることを提示し、追加することを確認した。
- ・ 事務局が「資料5」に基づき、基本理念（位置づけ、前回の内容、基本理念を含む基本構想には期間の設定がなく、基本計画には10年という期間の設定があること）について説明し、確認した。

## (2) 総論、参考の構成について

- ・事務局が「資料6」に基づき、「参考」部分の構成について提案を行った。なお、対応については、今後の起草委員会の議論に委ねることを確認した。
- ・事務局から、少なくとも総論の構成については、本日決定したい旨依頼があった。

## (3) 総論、参考の作成方法の検討

- ・教育・学習分科会野牧リーダーが、司会及び板書役になり、総論の作成方法の検討がなされた。
- ・総論の2ページについて質問があり、事務局から見開きを想定している旨報告があった。
- ・総論で決めなければならないことは、構成要素、表現、割付、分担、であるとの提起があった。
- ・まず、構成要素について検討していくことし、
  - 【A案】:「理念」、「都市像」、「重視したこと」(過去からの継続、新たな部分を含む)の3つの構成
  - 【B案】:「理念」を文章(2ページ全部を使って、重視したことを記述)で記述する構成の2つの案が提示され、議論の結果、まずは、A案で検討していくことを確認した。なお、「都市像」を「重視したこと」の後に掲載した方が良いのではないかという意見も出されたが、掲載場所については、今後検討していく中で決定していくことを確認した。
- ・「重視したこと」については、事務局が「計画の理念など計画全体に関わる部分」として集約した「資料4」のように、私たちがめざす幸せな社会、社会的背景と課題、めざす社会を実現するために必要なこと、自分たちにできること、の項目で記述してはどうかとの意見が出された。この点について、分科会の要素を反映しようとする複雑になる可能性があるといった懸念が示されたが、総論作成においては、最大公約数的な整理を基本としており、そのために、分科会ごとに検討した「計画の理念など計画全体に関わる部分」について集約した「資料4」を議論のたたき台にすることとなっている。分科会ごとの各論と全体の総論との整合については、起草委員会の委員として、分科会の議論を踏まえながら検討していく自覚が必要であることを確認した。
- ・今後の進め方について、「理念」をどのようにしていくのか、「重視すること」のストーリー(イラスト化含む)は宿題として、9月18日(日)24時まで分科会ごとにリーダー、サブリーダーで調整し、リーダーから事務局と各メンバーにメール送付することを確認した。提出された内容は、野牧リーダーが整理・取りまとめ、構成・割付(案)の作成を行うことを確認した。
- ・「参考」部分の構成については、9月25日(日)第8回リーダー会議兼第3回起草委員会までに各自検討してくることを確認した。
- ・次回は、総論の構成・割付(案)を基に検討を行い、「参考」部分の構成についても議論することを確認した。

## 7. 次回開催日時の確認

- ・第8回兼第3回起草委員会：平成23年9月25日(日) 10:00~12:00

## 8. その他

【教育シートNo.80(新しい公共と「市民会議」によるフォローアップ)の検討について】

- ・ 前回のリーダー会議で、「みんなで担う公共と協働分科会」のシートに入れることになり、分科会で検討しているが、担い手、期間、誰に向かっての提言なのか等具体的な提言に落とし込むには取り扱い難い部分があるとの意見があった。シートとしては残していくが、それらについて、「参考」部分に会全体の思いとして記述していったらどうかとの提起がなされた。
- ・ 前回もそのような提案があった中で、他の分科会でも同様の意見が出されていることから、そのように検討していくことを確認した。

【市議会との意見交換会の議事録について】

- ・ 今後、出席者に送付するので、自分の発言部分を確認してもらいたい旨事務局から依頼があった。

【教育・学習分科会の各論冒頭文案について】

- ・ 教育・学習分科会野牧リーダーから、分科会における「各論冒頭文案資料」に基づき作成経過の説明があり、その過程のなかで、それぞれの施策提言シートを理解し、有機的に結合させる必要があることや、不足部分が明らかになる等の発見があることから、早めに作業を行ってみるとよいと報告された。

以上